令和７年９月

肥薩おれんじ鉄道株式会社の経営状況を説明する書類

熊　本　県

目　　次

令和６年度決算に関する書類

　１　事業報告・・・・・・・・１

　２　決算報告・・・・・・・・５

　　（１）損益計算書

　　（２）貸借対照表・・・・６

令和７年度事業計画に関する書類

　１　事業計画・・・・・・・・７

　２　収支予算書・・・・・・・８

令和６年度決算に関する書類

１　事業報告

肥薩おれんじ鉄道株式会社は、年間約１００万人以上が利用する、地域住民にとって欠かすことのできない交通機関である。これまでも、安全運行の確保、サービスの向上を図るとともに、熊本・鹿児島両県や沿線自治体及びＪＲ九州の支援を得ながら、安定的な運営が継続できるよう努めてきた。

しかし、開業２年目の平成１７年度に減価償却前損益で赤字を計上して以来、厳しい経営状況が続いており、同社では、熊本・鹿児島両県及び沿線自治体と連携した利用促進や社員一丸となった営業活動等を行っている。

現在は、人員不足が深刻となる中、運転士の退職が重なり、一部列車の減便を行いながら運行している。

令和６年度は、令和３年度末に策定した中期経営計画（令和４年度から令和８年度まで）に掲げる定期外利用の拡大や組織人事・マネジメント体制の変革、業務効率化・標準化とデジタル化の推進等の重点施策に取り組んだ。

令和６年度の営業収益は、旅客運輸収入が対前年度比１２百万円増、旅行取扱収入が対前年度比６百万円減、鉄道線路使用料収入が対前年度比１億５百万円増となり、全体では対前年度比９８百万円増の１６億６８百万円となった。

一方、営業費用は、燃料・資材価格の高騰により運転費、施設・設備費用が増加したものの、法定検査の車両数や電路の修繕経費が減少し、対前年度比１億６２百万円増の２６億２６百万円となった。

以上により、経常損益は、対前年度比５２百万円減となる９億３１百万円の損失計上となったが、運行支援対策事業補助金や燃料価格高騰支援等の特別利益９億４８百万円を受け入れたことにより、当期純損益は８百万円の利益計上となった。

（参考）

（単位：千人、千円）

	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
利用者数	1,881	1,771	1,688	1,690	1,631	1,563	1,512
営業収益	885,654	825,859	903,724	798,121	960,712	1,124,584	903,016
営業費用	960,592	958,488	1,153,010	977,978	1,177,006	1,319,667	1,281,620
営業損益	△74,938	△132,629	△249,286	△179,857	△216,294	△195,083	△378,604
営業外損益	364	1,331	2,841	27,225	1,867	1,808	1,250
経常損益	△74,574	△131,298	△246,445	△152,632	△214,427	△193,275	△377,354
当期損益	△63,032	△133,713	△203,025	△152,197	△123,828	△61,096	△266,440
減価償却費	85,582	78,728	72,911	65,361	56,939	47,847	45,472
減価償却前営業損益	10,644	△53,901	△176,375	△114,496	△159,355	△147,236	△333,132

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
利用者数	1,450	1,367	1,390	1,304	1,243	1,184	1,171
営業収益	1,206,113	1,158,322	1,466,405	1,578,911	1,380,935	1,306,443	1,802,574
営業費用	1,438,457	1,427,598	1,804,571	2,124,917	1,981,864	1,839,834	2,300,856
営業損益	△232,344	△269,276	△338,166	△546,006	△600,929	△533,391	△498,282
営業外損益	5,861	6,205	11,406	5,308	△11,262	△10,692	7,194
経常損益	△226,483	△263,071	△326,760	△540,698	△612,192	△544,083	△491,088
当期損益	159,204	△184,004	△101,943	△212,690	43,755	195,673	106,744
減価償却費	42,770	54,472	58,885	87,741	115,411	116,172	116,462
減価償却前営業損益	△189,574	△214,804	△279,281	△458,265	△485,518	△417,219	△381,820

	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
利用者数	1,153	1,076	804	939	975	1,021	1,039
営業収益	1,724,383	1,613,260	1,523,946	1,619,644	1,535,857	1,570,538	1,668,849
営業費用	2,406,159	2,308,454	2,209,882	2,169,537	2,496,912	2,463,484	2,626,338
営業損益	△681,776	△695,194	△685,936	△549,893	△961,055	△892,946	△957,488
営業外損益	12,291	5,989	18,811	14,388	12,026	13,811	25,659
経常損益	△669,485	△689,205	△667,126	△535,505	△949,029	879,135	△931,829
当期損益	△33,755	△24,167	△116,594	615,974	298,662	△103,220	8,277
減価償却費	115,661	106,305	104,342	103,318	101,002	111,827	120,971
減価償却前営業損益	△566,115	△588,889	△581,594	△446,575	△860,053	△781,119	△836,517

【会社の概要】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（令和７年７月１日現在）

１．会社の名称等

（１）商　　　号　　　肥薩おれんじ鉄道株式会社

（２）設立年月日　　　平成１４年１０月３１日設立登記

（３）本店所在地　　　熊本県八代市萩原町１丁目１番１号

（４）開　　　業　　　平成１６年３月１３日

２．株式の状況

（１）発行する株式総数　　　　　３１，２００株

（２）発行済株式総数　　　　　　３１，２００株

（３）資本の額　　　　　１，５６０，０００千円

（４）株主数　　　　　　　　　　　　　１０名

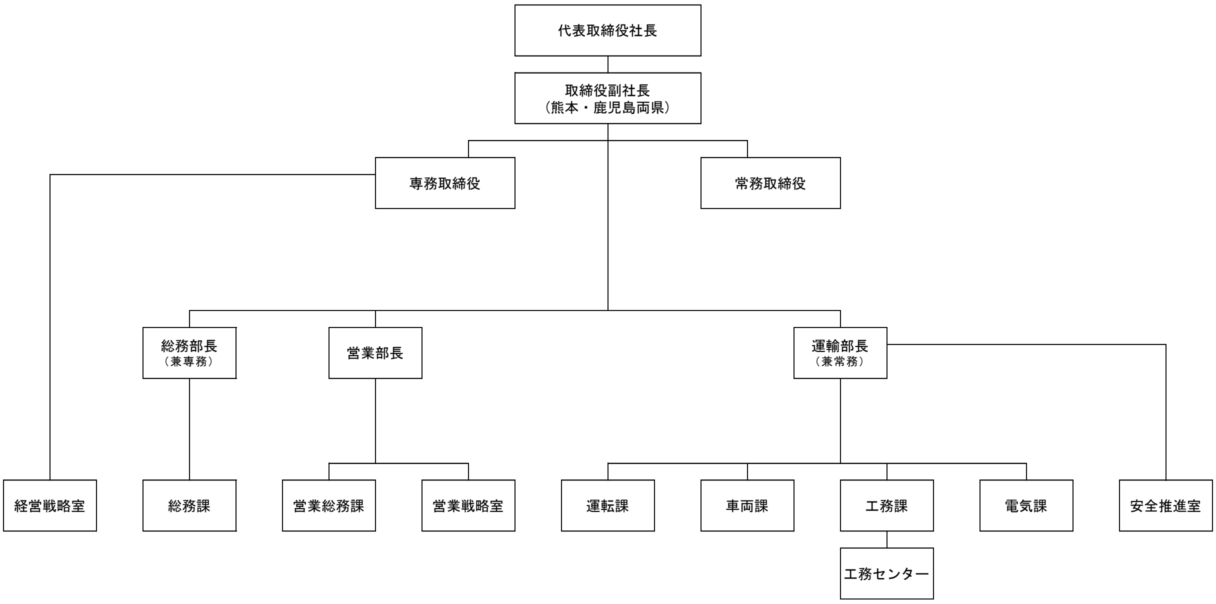
（５）株主の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

区分	出資者	出資額	区分	出資者	出資額
自治体	熊本県	620,500	民間企業・団体	日本貨物鉄道株式会社	100,000
	鹿児島県	620,500			
	熊本県八代市	60,750			
	鹿児島県薩摩川内市	50,800			
	鹿児島県出水市	40,500			
	熊本県水俣市	29,350			
	鹿児島県阿久根市	18,200			
	熊本県芦北町	13,250			
	熊本県津奈木町	6,150			
	小　計	1,460,000		小計	100,000
合　計					1,560,000

３．取締役及び監査役の氏名及び主な職業

職	氏　名	主な職業
代表取締役社長	中村　誠希	
取締役副社長	坂本　弘道	熊本県企画振興部交通政策・統計局長
取締役副社長	竹内　文紀	鹿児島県総合政策部地域政策総括監
専務取締役	杉本　良一	
常務取締役	高取　正俊	
取締役	中村　博生	八代市長
取締役	田中　良二	薩摩川内市長
取締役	髙岡　利治	水俣市長
取締役	椎木　伸一	出水市長
取締役	松尾　正博	日本貨物鉄道株式会社九州支社長
		（１０名）
監査役	笹木　秀一	
監査役	西平　良将	阿久根市長
		（２名）

４．組織体制



２　決算報告

（１）損益計算書

自　令和６年４月１日　　至　令和７年３月３１日　　（単位：円）

【営業損益の部】		
〔営業収益〕		
〔売上高〕		1,668,849,365
〔営業費用〕		
〔売上原価〕		
当期商品製品仕入高		3,299,756
旅行業収入原価等		39,052,075
運送営業費		1,997,807,463
売上総利益（損失）		△371,309,929
〔販売費及び一般管理費等〕		
販売費及び一般管理費		407,914,908
諸税		57,292,481
減価償却費		120,970,981
営業利益（損失）		△957,488,299
【営業外損益の部】		
〔営業外収益〕		
受取利息	181,903	
雑収入	28,195,517	
営業外収益合計		28,377,420
〔営業外費用〕		
支払利息	2,718,279	
営業外費用合計		2,718,279
経常利益（損失）		△931,829,158
〔特別利益〕		
補助金収入	1,055,724,296	
特別利益合計		1,055,724,296
〔特別損失〕		
固定資産圧縮損	76,457,794	
特別修繕撤去費	31,439,362	
特別損失合計		107,897,156
税引前当期純利益（損失）		15,997,982
法人税、住民税及び事業税		7,721,000
当期純利益（損失）		8,276,982

（２）貸借対照表

令和７年３月３１日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
【流動資産】	1,157,464,929	【流動負債】	1,647,718,977
現金及び預金	131,804,994	短期借入金	550,000,000
未収運賃	14,488,155	一年内返済予定長期借入金	5,004,000
未収金	725,065,405	未払金	803,767,272
未収消費税等	62,089,161	未払費用	2,435,340
貯蔵品	34,958,298	未払法人税等	14,928,800
未成工事支出金	153,270,992	預り連絡運賃	2,147,054
前払費用	32,995,124	預り金	2,317,037
その他	2,792,800	前受金	240,233,934
		一年内返済予定長期預託金	10,495,549
		賞与引当金	16,389,991
【固定資産】	1,639,193,458		
鉄道事業固定資産	1,621,598,821	【固定負債】	63,422,548
有形固定資産	1,605,897,671	長期借入金	1,211,000
無形固定資産	15,701,150	建設協力長期預託金	59,207,068
投資その他の資産	17,594,637	長期預り敷金	1,461,400
長期前払費用	4,536,637	PCB 処理費用引当金	1,543,080
旅行業供託金	11,000,000		
差入保証金	2,058,000	負債の部合計	1,711,141,525
長期未収金	26,174,300	純資産の部	
貸倒引当金	△ 26,174,300	【株主資本】	1,085,516,862
貸倒引当金	△ 26,174,300	資本金	1,560,000,000
		利益剰余金	△474,483,138
		その他利益剰余	△474,513,138
		繰越利益剰余	△474,513,138
		純資産の部合計	1,085,516,862
資産の部合計	2,796,658,387	負債･純資産の部合計	2,796,658,387

令和７年度事業計画に関する書類

１　事業計画

○　事業方針

肥薩おれんじ鉄道の安定的な運行を確保するため、沿線地域の人口減少、高齢化及び南九州西回り自動車道整備等の社会情勢の変化や経営状況を踏まえ、“行動変革”と“新たな価値創造”を中期ビジョンとして、令和４年３月に「中期経営計画（令和４年度～令和８年度)」を策定した。
当計画の４年目となる令和７年度は、前年度に引き続き、肥薩おれんじ鉄道の経営体制を抜本的に見直すため、定期外利用の拡大や旅客サービスの見直しなどの重点施策に積極的に取り組むこととしている。
特に定期外利用の拡大については、国内旅行者だけでなく外国人旅行者の取り込みに力を入れ、増収増益を目指す。また、喫緊の課題である運転士不足に対応するため、要員の確保・育成についても計画的に実施する。

○　事業内容

（１）定期外利用の拡大
観光列車「おれんじ食堂」列車を活用した各種企画や有名キャラクターと連携したラッピング列車の運行、夏休みなどの連休期間に合わせたイベント等の実施により、定期外利用の増加を目指す。
また、台湾を中心とした海外営業を積極的に展開しつつ、外国人旅行者でも安心して乗車できるよう外国語版パンフレットの設置や駅舎サイン等の多言語化を図るとともに、ＳＮＳやデジタルサイネージ等で情報発信を行う。

（２）修繕計画の見直しと維持管理コストの抑制
構造物について、健全度判定に基づく優先順位を設定のうえ、年度間における経費が平準化されるよう計画的に修繕・更新を行う。
また、ＪＲ九州から引き継いだ過大な施設・設備の撤去やスリム化に取り組むとともに、遊休地等の有効活用を検討する。

（３）旅客サービスの見直し
昨年１０月に実施した運賃改定後の分析結果や沿線住民アンケート調査結果に基づき、利用促進や利便性向上の施策を検討する。

（４）鉄道事業の再構築に向けた関係者協議
肥薩おれんじ鉄道を将来にわたって持続可能なものとするため、熊本・鹿児島両県、沿線市町及びＪＲ貨物等により立ち上げた「肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会」（オブザーバー：九州運輸局他）において、鉄道事業の再構築に係る協議を行う。

２　収支予算書

損益計算書

自　令和７年４月１日　　至　令和８年３月３１日　　　（単位：千円）

〔営業収益〕		
旅客運輸収入		419,922
鉄道線路使用料収入		1,133,358
その他収入		239,416
	計	1,792,696
〔営業費用〕		
人件費		601,513
車両保存費		132,984
線路保存費		514,099
電路保存費		653,753
その他費用		602,512
	計	2,504,861
減価償却費		144,205
営業利益（損失）		△856,370
〔営業外損益〕		
		1,487
経常利益（損失）		△854,883
〔特別損益〕		
税引前当期純利益（損失）		36,562
法人税、住民税及び事業税		22,483
当期純利益（損失）		14,079